企　画　展

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

2014年、公益財団法人 佐川美術館（所在地：滋賀県守山市　館長：栗和田榮一）では、特別企画展として「吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩」を開催いたします。

第6回目となる吉左衞門Xでは、萩焼・十五代坂倉新兵衛氏と樂焼・十五代樂吉左衞門氏とのクロストーク・コラボレーション展を開催いたします。

今回、坂倉氏は樂焼に、樂氏は萩焼に挑戦。それぞれ、相手方の製作法を用いて制作します。

言うまでもなく樂焼と萩焼はどちらも400年あまりの伝統を有し、茶の湯の分野に大きな足跡を残してきました。しかし、二つの茶陶は全く異なる方法により制作されています。樂焼は手捏（てづく）ね制作、轆轤（ろくろ）を一切使用せず手捏ねで原形を造り、箆（へら）で削りあげて造形します。また、その焼成は鞴（ふいご）を用いた小さな内窯で一碗ずつ焼き上げる内窯焼成とよばれる樂家独特の製作法を取ってきました。一方、萩焼は轆轤制作、樂焼とは対照的な登窯焼成を行います。

樂焼は手捏ねで原形を造る工程と、それを箆（へら）で削る工程から成り立っています。それは轆轤制作に比して長い制作時間を要し、轆轤という制約がない分、自己表現としての自由さがはるかに大きいと言えます。一方、萩焼は轆轤の回転の中で、瞬間的な手の動きにより形が生み出されていきます。長時間の対峙的な持続ではなく、むしろ瞬時の中の緊張と身体的なリズムをとおして、自己の表現を確立していきます。樂焼の持続的な思考と自己表現の自由さと、萩焼の瞬間的な緊張と身体的な思考との対峙。

焼物にとって、制作、つまり技術は単なるノウハウではなく、その中にそれぞれの焼物の本質が宿っていると言えます。それぞれ制作者は、手捏ねとは、轆轤制作とは、どのような意味を持ち、どのような表現が可能なのかを突き詰めます。それは単なる技術的な事柄ではなく、焼物の本質、造形の根幹に関わるコンセプトなのです。

今回、二人の作家のクロストーク―互いに異なる製作法を用いて制作することにより、互いの本質が浮かび上がります。

今回の企画を提案した樂氏、それに応えた坂倉氏は、東京藝術大学彫刻科の同窓生です。若き頃、彫刻を学んだ親友にして、共に伝統を受け継ぐ家で育った、十五代目同士。本企画展は、互いをよく知る間柄であるからこそ成立したコラボレーションであり、冒険的かつ刺激的な試みと言えます。

十五代 坂倉新兵衛（さかくら・しんべえ）

1949年、山口県長門市に生まれる。1972年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、2年後に同大学院陶芸専攻修了。1978年十五代坂倉新兵衛を襲名し、現在に至る。1984年日本工芸会正会員に。1989年山口県芸術文化振興奨励賞を受賞する。2004年山口県選奨賞を受賞する。2012年日本工芸会理事及び日本工芸会山口支部幹事長に就任する。2013年日本工芸会陶芸部会展審査員、2013年山口県指定無形文化財萩焼保持者に認定される。

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

展覧会実施概要

■ 名　　称：吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

■ 会　　期：2014年9月27日［土］ー2015年3月29日［日］

■ 会　　場：佐川美術館 樂吉左衞門館
〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
TEL：077-585-7800　FAX：077-585-7810

■ 展示構成：坂倉新兵衛作樂茶碗、樂吉左衞門作萩焼茶碗

■ 開館時間：午前9時30分−午後5時（入館は午後4時30分まで）
※9月27日［土］は開会式のため、樂吉左衞門館の観覧は午前10時30分より

■ 休 館 日：月曜日（祝日の場合翌火曜日）2014年11月17日−19日、12月29日−2015年1月2日

■ 入 館 料：一般 ¥1,000（¥800）／高大生 ¥600（¥400）／中学生以下無料（ただし保護者の同伴が必要）
（　）内は20名以上の団体割引料金
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1名のみ）は無料

■ 主　　催：公益財団法人 佐川美術館

■ 後　　援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会

■ 協　　力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

■ 併設展示：平山郁夫館、佐藤忠良館にて常設展示
魔法の美術館　光と影のファンタジー　11月1日［土］−1月12日［月・祝］

■イベント：

◎ 記念対談　樂吉左衞門×坂倉新兵衛
日時：9月27日［土］11:00−
会場：樂吉左衞門館ロビー

◎ 特別記念茶会（予約制・有料）　席主：樂吉左衞門
日時：9月28日［日］①10:30、②12:00、③13:30、④15:30
場所：樂吉左衞門館茶室

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

主な出品作品

① 右　黒樂平茶碗／坂倉新兵衛
左　萩焼茶碗／樂吉左衞門

② 黒樂茶碗／坂倉新兵衛

③ 萩焼茶碗／樂吉左衞門

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

広報用写真について

主な出品作品中の画像をご使用ください。ご希望の方はお手数ではございますが、下記担当者アドレスもしくは、同封の作品画像および読者プレゼント用招待券申込書に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申込ください。

なお、作品画像につきましては、著作権の関係上、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。※そのほか貸出希望の作品がございましたら、担当者までお問合せください。

読者プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を10枚までご提供させていただきます。ご希望の方はお手数ではございますが、同封の作品画像および読者プレゼント用招待券申込書に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申込ください。

■ 交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有70台、美術館入館者は無料

・名神高速瀬田西 IC より湖周道路経由約30分

・名神高速栗東 IC より守山栗東線経由約30分

・名神京都東 IC より湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由約30分

鉄道ご利用の場合

・JR 琵琶湖線守山駅より路線バス　佐川美術館下車（約30分）

・JR 湖西線堅田駅より路線バス　佐川美術館下車（約15分）

[連絡先]

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102　滋賀県守山市水保町北川2891

TEL：077-585-7800 ／ FAX：077-585-7810

担当：松山早紀子（まつやまさきこ）

s_matsuyama002@sagawa-artmuseum.or.jp

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

作品画像 および 読者プレゼント用招待券申込書

佐川美術館 宛　FAX / 077-585-7810

申込日　　年　　月　　日

作品写真の露出・掲載等 ご使用にあたっての注意	■ 申請された方法、目的以外には使用しないでください ■ 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します ■ その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
ご使用作品（○印）	1. 右　黒樂平茶碗 ／ 坂倉新兵衛 　左　萩焼茶碗 ／ 樂吉左衞門 2. 黒樂茶碗 ／ 坂倉新兵衛 3. 萩焼茶碗 ／ 樂吉左衞門 計　　点
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	
ご連絡先	ご住所　〒 e-mail： TEL：　　　　FAX：
発行予定日	年　　月　　日　　　号
使用形態（○印）	Web ／ 印刷物（カラー ／ モノクロ）
招待券希望枚数	読者プレゼントとして、招待券　　枚 ※ 枚数は10枚以内でお願いいたします。

吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩

― 開会式・記念対談のご案内 ―

9月27日［土］10:00－

会場：佐川美術館 樂吉左衞門館

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当館の活動に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
さて、公益財団法人 佐川美術館（所在地：滋賀県守山市　館長：栗和田榮一）では、特別企画展として「吉左衞門X　新兵衛の樂　吉左衞門の萩」を開催いたします。
つきましては開会式の後、報道内覧会に代わりまして別記のとおり記念対談を行います。
ご多用の折誠に恐縮ではございますが、何卒ご来館賜りますようご案内申し上げます。

敬具

・日　　時：2014年9月27日［土］
・受　　付：9:30－
・開 会 式：10:00－　樂吉左衞門館ロビー
・記念対談：11:00－　樂吉左衞門館ロビー
　樂吉左衞門氏×坂倉新兵衛氏による対談
　※対談終了後、取材対応させていただきます

※ 当日に限り、お帰りの際に展覧会関連書籍1冊を贈呈いたします。
※ ご出席の方は別紙参加申込ファックスを9月25日［木］までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。

［連絡先］
公益財団法人佐川美術館
〒524-0102　滋賀県守山市水保町北川2891
TEL：077-585-7800 ／ FAX：077-585-7810
担当：松山早紀子（まつやまさきこ）
s_matsuyama002@sagawa-artmuseum.or.jp

9月27日［土］開会式・記念対談ファックス返信票

佐川美術館 宛　FAX / 077-585-7810

開会式・記念対談に出席します

貴社名

ご所属

ご住所　〒

ご連絡先（TEL）

（FAX）

ご芳名　（他　名）